

令和3年度熊本県高等学校総合体育大会弓道競技大会実施要項

- 1 大会名 令和3年度熊本県高等学校総合体育大会弓道競技大会兼全九州高等学校体育大会・全国高等学校総合体育大会県予選
- 2 主催 熊本県高等学校体育連盟・熊本県教育委員会
- 3 後援 熊本県弓道連盟
- 4 主管 熊本県高等学校体育連盟弓道専門部
- 5 期日 (1) 女子監督会議 令和3年5月28日(金) 9時30分～  
男子監督会議 令和3年5月29日(土) 8時50分～  
(2) 競技 令和3年5月28日(金)～5月30日(日)  
(3) 女子個人表彰式 令和3年5月28日(金) 17時10分～  
男子個人表彰式 令和3年5月29日(土) 16時40分～  
団体表彰式 令和3年5月30日(日) 14時40分～
- 6 会場 熊本市植木弓道場(熊本市北区植木町岩野238-1 TEL096-272-3991)
- 7 競技内容 競技の種目、種別、種類および規格は次のとおりとする。  
(1) 種目 近的競技  
(2) 種別 男子の部・女子の部  
(3) 種類 団体競技・個人競技  
(4) 規格 的は36cm 霰的とする。ただし、個人競技決勝の射詰5射目以降は24cm 星的を使用する。  
(5) その他 競技会場は2射場10人立ちとする。
- 8 競技日程

月 日(曜)	時 間	種 別 ・ 種 類等
5月28日(金)	9:15～	受付開始
	9:00～9:20	役員打合せ
	9:30～10:00	<b>監督会議・優勝旗返還(女子)</b>
	10:10～12:10	女子団体予選1立目
	12:10～13:00	女子個人予選
	13:00～13:30	安土の整備・会場消毒
	13:30～15:30	女子団体予選2立目
	15:30～16:00	女子団体決勝リーグ抽選
	16:00～16:30	女子個人準決勝
	16:30～17:00	女子個人決勝
17:10～17:20	個人競技表彰式	
5月29日(土)	8:15～	受付開始
	8:30～8:50	役員打合せ
	8:50～9:20	<b>監督会議・優勝旗返還(男子)</b>
	9:30～11:30	男子団体予選1立目
	11:30～12:20	男子個人予選
	12:30～13:00	安土の整備・会場消毒
	13:00～15:00	男子団体予選2立目
	15:00～15:30	男子団体決勝リーグ抽選
	15:30～16:00	男子個人準決勝
	16:00～16:30	男子個人決勝
16:40～16:50	個人競技表彰式	

5月30日(日)	8:30～8:40	役員打合せ
	8:40～8:55	監督会議
	9:00～14:30	女子・男子団体決勝リーグ戦 (女子団体決勝戦14試合終了後、安土の整備・会場消毒)
	14:40～15:00	団体競技表彰式

※ 注) 上記の時刻は、予定の時刻であり、参加チーム数、進行状況によって変更になる場合がある。

9 競技規則 本大会実施要項による。また(公財)全国高体連弓道競技規則による。

10 競技方法 (1) 団体競技および個人競技は、次のとおりとする。

ア 団体競技

- ① 予選は1チーム単位により、各自4ツ矢2回8射(立射)を行い、的中数上位より7チームを予選通過とする。
- ② 決勝戦は予選通過7チームのリーグ戦とし、各自4射計20射により行う(立射)。

イ 個人競技

- ① 団体予選1立目または個人予選において的中数3中以上の選手を予選通過とする。なお団体の補欠の選手についても個人予選への参加を認める。
- ② 準決勝は、男女とも各自4射を行い、的中数3中以上の選手を決勝進出とする。
- ③ 決勝は、射詰競射により上位から順位を決定する。射詰競射の5射目以降は、24cm 星的を使用する。的中を逸した同位者は、優勝・準優勝決定以外は遠近競射(36cm 霞的)で順位を決定する。

(2) 団体競技において同中の場合は、各自1本ずつの競射を行い、勝敗を決定する。(競射の1本目は、替矢を使用する。)

(3) 矢返しは、4ツ矢終わるごとに行い、1本ごとの矢返しは行わない。

(4) 競技時間の制限

ア 競技時間は、本座における進行係の合図によって始まり、最後の射手の最後の弦音で終わる。

イ 団体競技の行射制限時間は1チーム6分とし、5分30秒で予鈴を鳴らす。

ウ 弦切れ、その他の事故が生じても時間の延長はしない。

エ 個人競技および1射ずつの競射については、進行係又は、審判員の指示に従うこと。

(5) 行射

すべて立射で行う。

(6) 交代・変更

[選手]

ア 団体選手の交代は、申込書に記載した登録選手以外は認めない。

イ 団体競技の先発メンバーは登録順に5名とし、予選においては、監督会議のときとそれ以後の1回、計2回、また決勝リーグ戦においては、監督会議のとき1回と競技開始後2回の計3回の交代を認める。したがって交代退場した選手の再出場はできる。

ウ 第1回の交代は監督会議終了直後まで、第2回以後は第3控に入る前までに、それぞれ所定の用紙に記入し、監督が届け出るものとする。

エ 交代は1回につき2名以内とする。

オ 所定の交代をした後、選手に事故が生じて欠場する場合は、欠員のまま団体とする。

カ 個人選手の交代は認めない。

[監督]

ア 監督の変更は、選手が第3控に入る前までに文書により、原則として新監督が届け出ること。

イ 生徒の監督代行は、当該校の監督が本大会の役員を兼務する場合に限り認める。

## 11 参加資格

(1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。

(2) 選手は、本連盟加盟校の生徒で、本競技実施要項により参加の資格を得たもの。

(3) 年齢は、平成14年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。

(4) チームの編成において、全日制課程と定時制課程、通信制課程の生徒の混成を認めない。

(5) 広域通信制高等学校の参加にあたっては、以下のとおりとする。

① 広域通信制高等学校の加盟にあたっては、全国高等学校体育連盟が示す「広域通信制高等学校本校及び連携校等の都道府県高体連への加盟について（平成26年5月20日全面改定）」を適用する。

② 大会の参加は原則として、熊本県高等学校体育連盟定時制・通信制総合体育大会とする。

③ 運動部活動が教育活動の一環として、日常継続的に顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間帯等の運営が適切であること。

④ ③に伴い全日制大会参加の特例として、運動部活動が可能な学校に在籍し、かつ日常的に県内で練習等の活動が行われていること。

(6) 複数校合同チームによる大会参加

ア 再編・統合の対象となる学校について認める。

イ 少子化等に伴う部員不足による複数校合同チームの大会参加は、別に定める「複数校合同チームの大会参加規程」に従う。

(7) 転校・転籍後6カ月未満の生徒の参加は認めない。（外国人留学生もこれに準じる。）ただし一家転住等のやむを得ない事由による場合は、弓道専門部で調査し、県高等学校体育連盟会長に諮る。

(8) 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。

(9) その他の事項については、全国高等学校体育連盟規定、九州高等学校体育連盟規定の参加資格に準ずる。

(10) 参加資格の特例

ア 上記(1)に定める生徒以外で(2)～(6)の大会参加資格を満たし、かつ、県高体連が承認した生徒を、「大会参加資格の別途に定める規程」に従い、大会参加を認める。

イ 上記(3)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒は、同一競技3回限りとする。

ウ 学年の区分を設けてある課程に在籍する生徒の出場は、3学年までの年齢19歳未満の者に限る。（同一学年の参加は同一競技、1回限り）

## 12 参加制限

(1) 1校より男女各1チーム以内、1チームの編成は監督1人、選手7人までとし、選手4人未満は個人としての出場とする。

- (2) チームの先発メンバーは申し込み記載順に5人とする。
- 13 引率・監督 (1) 引率責任者は当該校の教員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届け出る。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合はスポーツ安全保険(傷害、賠償責任保険等)に必ず加入することを条件とする。

14 個人情報の取扱い

本大会の参加申込書等によって取得した個人情報の取扱いについては、「熊本県高等学校体育連盟個人情報保護方針」に基づき取り扱う。なお、参加申込書の提出をもって、これらの取扱いに関して参加者生徒及びその保護者の承諾を得たものとして対応する。

- (1) 参加申込書に記載された個人情報の取扱い
- ア 大会プログラムへ掲載する。
  - イ 競技場内でのアナウンス等による照会・コールすることがある。
  - ウ 競技場内外の掲示板等に掲示されることがある。
- (2) 競技結果(記録)等の取扱い
- ア 熊本県高等学校体育連盟ホームページで公開することがある。
  - イ 大会報告書、熊本県高等学校体育連盟年報、熊本県高等学校体育連盟周年記念誌へ掲載することがある。
  - ウ 報道機関等の取材により、新聞等のメディアで公開されることがある。

15 参加申込

- (1) 申込書類  
申込書 1部
- (2) 申込方法  
所定用紙に記入の上、下記申込先あて郵送すること。(FAXでは受け付けない。)
- (3) 申込先

〒861-0532 山鹿市鹿校通三丁目5-1

県立鹿本高等学校 富田 満秋あて (TEL) 0968-44-5101

※なおプログラム作成省力化のため、文書による申込みとあわせて、別紙要領に従い

Eメール(Excelファイル添付)でも選手名簿をお送り願います。

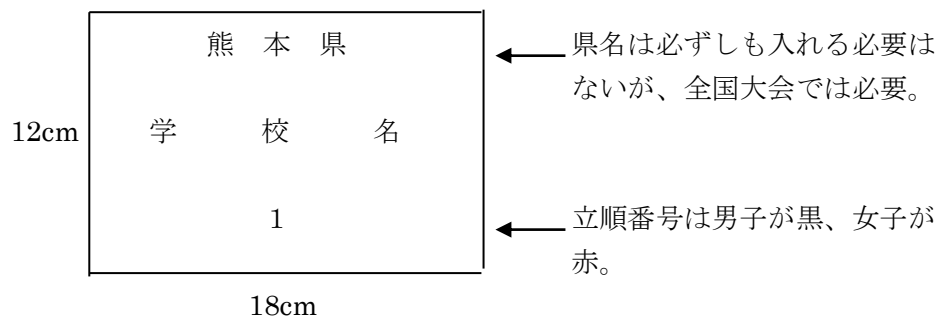
(メールアドレス; [tomita-m-ki@mail.bears.ed.jp](mailto:tomita-m-ki@mail.bears.ed.jp))

- (4) 申込み締切日  
令和3年5月10日(月)必着

16 参加料

- (1) 加盟校 500円 × エントリー人数
- (2) 非加盟校(高等専門学校等) 1,000円 × エントリー人数
- (3) 納入方法
- ア 学校ごとにとりまとめ、加盟校及び非加盟校とも**参加申込みと同時に**最寄りのゆうちょ銀行払込用紙(青色の用紙、ゆうちょ銀行に常備)を用いて、下記口座に払い込むこと。(払込代金は各学校でご負担願います。)
  - イ 払込先
- |                    |
|--------------------|
| 口座番号 01710-0-61294 |
| 加入者名 熊本県高体連弓道専門部   |
- ウ 払込用紙の通信欄に男女別参加者数と総参加者数をそれぞれ明記してください。

- 17 表 彰 (1) 団体競技は男女第3位まで、個人競技は男女第6位までそれぞれ賞状を授与する。  
(2) 団体優勝には優勝旗を授与する。
- 18 諸会議等 (1) 役員打合せ、監督会議は「8 競技日程」中に記載。  
(2) 各学校の監督は、全員必ず第一日目の監督会議に出席すること。
- 19 全国大会・九州大会の出場権  
(1) 本大会の団体競技1位の学校を全国大会の、1位と2位の学校を九州大会の、それぞれ出場校とする。  
(2) 本大会の個人1位および2位の選手を全国大会の、また個人1位から5位までの選手を九州大会の、それぞれ個人競技出場者とする。
- 20 立 順 弓道専門委員会において決定し、大会前に各学校に通知する。
- 21 連絡事項 (1) **今年度は女子から競技開始となります。間違いないようにしてください。**  
(2) 競技の服装は弓道衣、袴、白足袋とする。袴へ刺繍等により校名・氏名を入れる場合は右腰後ろにする。(平成27年度入学生より適応)  
(3) 鉢巻を使用する場合、無地で長さは肩までとする。なお、校名・校章・氏名に限り入れてよいが場所は鉢巻の端とする。  
(4) **観覧席・応援席が使用禁止になっておりますので、応援は無しとします。(無観客での開催)**  
(5) 弓に照準の目印等をつけてはいけない。  
(6) 監督は**当該校の校長が認める指導者**とし、監督不在のチームは出場を認めない。  
(7) 監督は選手とともに入場し、所定の席に着くものとする。ただし、監督が競技役員を兼務する場合に限って、その代理の入場を認める。  
(8) 場内入場の控えに遅れたときは、その立ちに限り棄権とみなす。  
(9) 選手は必ず下記の仕様のゼッケンを用意し、行射の際右腰前に着用すること。  
なおこの番号は選手の登録番号でもあるので、選手が交代してもゼッケンをつけてはならない。定められたゼッケンを着用せずに行射した選手の成績は参考記録扱いとなるので注意すること。



- (10) 選手は四ツ矢のほか、替え矢を持参のこと。
- (11) 弾(ゆがけ)のひもは危険防止のため小さく結び、止め具の使用は禁止する。
- (12) 危険防止のためと第3控えの弓具の点検で違反等がないように、監督は事前に選手の弓具の確認をしておくこと。
- (13) 競技中の選手のフラッシュ撮影は禁止とする。
- (14) **試合上の留意点(新型コロナウイルスに係る感染拡大防止)について**  
《試合運営》

○時間短縮及び新型コロナウイルス対策のため、開会式・閉会式は行わ

ない

○第2控えで、目視による弓具の点検をする。(道具への接触はしない)

《参加者》

○各校監督・選手・引率教職員・役員・補助員及び記録撮影のため各学校2名(教職員または生徒《監督が役員をする学校の介添え者を含む》)まで参加できる。

選手でない部員、引率者以外の教職員・保護者・卒業生等の観戦・応援は認めない。

○試合当日の朝、試合会場で、検温を行い、37.5℃以上の熱のある選手・監督は参加させない。帰宅してもらう。

○競技中以外はマスクを着用し、射場に入場する直前にマスクを外す。介添えはマスク着用。

○選手は各自、自分の弓・矢・碟を使用し、他の選手の使用したものに一切触れない。

○選手は各自、矢を拭くための雑巾を持参し、他人の物を使用しない。

《その他感染防止対策》

○控え所として道場内は使用せず、選手は弓道場外で各校は離れて待機する。雨天時はテント等を使用し、屋外で待機する。また、隣接する文化センターのロビーなどで待機しないこと

○試合中の選手の発声は禁止(競技規則)。

○屋内ではあるが、前方向が開放されており、換気ができている。道場の窓はすべて開ける。

(15) 同意書及び証明書(別紙1)について

(同意書)

各学校の顧問は大会各競技に参加(補助員を含む)する生徒へ配付し、取りまとめる。同意書は、大会終了後1ヶ月間各学校で保管する。

(証明書)

各学校は、同意書提出に伴い競技毎に、大会申し込み時に各専門部に証明書を提出する。

(16) 検温確認表について

参加者全員分を「別紙2:顧問・選手(補助員・介添え含む)用」に、毎日、当日の朝、各自で検温を含めた健康観察を行い、記入し、顧問が大会会場にて提出する。